

平成 29 年 7 月定例会

# 教育委員会定例会会議録

書記 菊池 亮

書記 工藤 貴裕

## 塩竈市教育委員会定例会会議録

◆日 時 平成 29 年 7 月 28 日（金） 午後 3 時 00 分～午後 4 時 00 分

◆場 所 壺番館 4 階 塩竈市民図書館視聴覚室

### ◆出席委員

教 育 長	高橋 睦麿	教育長職務代理者	柴田 仁市郎
委 員	太田 忍	委 員	池野 暢子
委 員	山田 達磨		

### ◆事務局

教 育 部 長	阿部 光浩	教育総務課長	本田 幹枝
学校 教育 課長	遠山 勝治	生涯学習課長	伊藤 英史
市民交流センター館長	伊東 英二	教育総務課総務係長	菊池 亮
教育総務課主事	工藤 貴裕		

### ◆定例会次第

- 1 開会
- 2 前回会議録承認
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 教育長報告
  - ① 本市の教育活動の状況について
- 5 教育部長報告
  - ① 塩竈市公共施設等総合管理計画（概要版）について
- 6 議案
  - ① 議案第 6 号 平成 30 年度塩竈市義務教育諸学校使用教科用図書の採択について【秘密会】
- 7 その他報告
  - ① 塩竈市青少年相談センター運営協議会の委員の委嘱について
- 8 閉会

## 1 開会 午後3時00分

## 2 前回会議録委員の署名

山田委員から報告、承認

## 3 会議録署名委員の指名

太田委員と池野委員を指名

## 4 教育長報告

(1) 高橋教育長から、以下のことについて報告

### ① 本市の教育活動の状況について

〔主な質疑〕

- ・ 山田委員 小中学校不登校児童生徒ヒアリングの不登校の主な原因について、いじめ等についての記載が無いが、いじめや子ども同士のトラブルによる不登校はあまり起きていないということで良いのか。
- ・ 高橋教育長 資料に記載した内容は原因が多いものを挙げさせてもらった。いじめ等による不登校が起きていないということではないが、いじめ等によるものは、随時、学校にて解決に向けて指導をおこなっているところである。しかしながら、原因について見ていくと家庭環境に問題があるケースが多かったため、そのように記載させていただいた。
- ・ 太田委員 小中学校不登校児童生徒ヒアリングは児童生徒の両親も同席するのか。
- ・ 高橋教育長 小中学校不登校児童生徒ヒアリングについては、学校と教育委員会との間で実施するものである。一人一人の児童生徒の状況をまとめた資料を基に問題解決に向けてのアドバイスをするところまでやっている。
- ・ 柴田委員 家庭の中の問題までは、教員が対応するのは難しいのではないのか。
- ・ 高橋教育長 そのため、スクールソーシャルワーカーを配置している。その方々がうまく家庭の中に入りながら、家庭の愚痴や困りごとを聞くことで、学校と家庭を繋ぐ役割をさせていただいている。やはり個々に様々な問題があり、難しい面もあるが学校としても苦慮しながら問題解決にむけて努力している。
- ・ 柴田委員 いじめ問題については、子どもだからとか子ども同士の関係の中でということで見られがちだが、大人がすれば犯罪になることなので、その点をきちんと児童生徒にも分からせないと、何度も繰り返すことになるのではないのか。

- ・ 高橋教育長 いじめ問題については、学校に対し事実関係の確認をきちんとするように指導している。また、いじめを受けた児童生徒を守るのはもちろんだが、一方でいじめをした児童生徒のことも考えて指導していく必要があるので、双方のことを考えながら慎重に対応している。

## 5 教育部長報告

### (1) 阿部教育部長から、以下のことについて報告

#### ① 塩竈市公共施設等総合管理計画（概要版）について

#### 〔主な質疑〕

- ・ 池野委員 どの市町村でも人口減少に向けて施設の統廃合が進められており、塩竈市でも児童生徒数が減少している中で、小中学校の統廃合についてはどのように考えているのか。
- ・ 阿部教育部長 学区や学校へ通う距離の問題がある一方で、塩竈市では人口減少を抑えようとしており、定住人口を増やそうと考えたときに子育て世代にとっては学校というのは一つの魅力であるので、むしろ学校施設に関しては、今より充実したものにしていかなければならないと感じている。
- ・ 山田委員 施設の統廃合について、小中一貫教育の観点から、いずれ小中学生が同じ施設で学ぶということは考えられるのか。
- ・ 高橋教育長 施設一体型の場合、それなりの規模の施設を用意する必要がある。施設一体型の小中一貫教育を実施しているところでは、体育館や校庭について、小学校用と中学校用の施設をそれぞれ整備している状況であり、単に学校を統廃合し狭いところで学習させたとしても、学習環境を悪化させるだけで、小中一貫教育の効果は薄いのではないかと考えている。
- ・ 柴田委員 人口が減少していく中で、当然、児童生徒数は減少するため、それに対応したコンパクトな環境造りは必要だと思う。もし叶うのであれば、小中一貫校の整備等、30年後を見据えた環境整備が必要だと考える。
- ・ 山田委員 どの自治体も予算が潤沢にあるとは思わないが、小中一貫教育について視察に行った牛久市では、教育施設の整備が大変進んでいるように思われる。やはり、それだけ将来に対する投資ということで、教育分野になるべく予算をかけようとしているため、それだけのことができるのでしょね。
- ・ 高橋教育長 どの分野にどのくらいの予算を配分するかは、その自治体の長の考えによるところである。牛久市については万博の際に新たな駅が整備され、その周辺に新たな新興住宅地が造成されてきた人口急増地区という背景があり、予算を集中し新たな教育施設を整備したと聞いている。また、新しい学校を整備した際には、その年度は鉛筆一本買うのにも苦労したという話があり、そうした大変な苦労をしながら整備したと視察の際に話があった。

- ・ 柴田委員 本市が人口減少を抑え、定住人口を増やしたいという考えがあるのであれば、魅力的な教育環境を整え、塩竈市に引っ越して来たいと言われるくらい教育分野に投資しても良いのではないか。県内の他の市町村に比べ、塩竈市の人口減少率はどのくらいなのか。
- ・ 阿部教育部長 県内の中でも人口減少率は高い。
- ・ 柴田委員 何が原因と思われるのか。
- ・ 阿部教育部長 色々と調べると、塩竈市が嫌で転出するのではなく、若い世代が新しく住宅を建てる場所が無いというのが原因としてあるようである。
- ・ 高橋教育長 人口が増加している自治体を見ると利府町や名取市等、新興住宅地が新たに整備されているところで人口が増加している。そして、そうしたところでは教育分野に対する予算が多く、施設整備が進んでいるようである。
- ・ 山田委員 駅周辺に保育所等を整備することで、人口増加に繋がった自治体もあるようだが、本市ではどのような方策が考えられているのか。
- ・ 阿部教育部長 本市においても海岸通1番2番地区に新たにマンションを整備する計画があり、その中に保育施設が併設される予定である。また、南町でも震災以降空き地だった部分を住宅地として整備する予定である。

## 6 議案

(1) 遠山学校教育課長から、以下のことについて報告

- ① 議案第6号 平成30年度塩竈市立義務教育諸学校使用教科用図書の新採択について【秘密会】

(委員全員異議なし) 原案のとおり可決

[主な質疑]

なし

## 7 その他報告

(1) 遠山学校教育課長から、以下のことについて報告

- ① 塩竈市青少年相談センター運営協議会の委員の委嘱について

[主な質疑]

なし

## 8 閉会 午後4時00分

《会議録署名委員》

2 番委員

(太田委員)

3 番委員

(池野委員)